

明治維新と新政府

今日の問い

新政府は、どのような国づくりを目指したのだろうか。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 新政府はどんな方針を示したか。

1868年・天皇が神に誓う

1868年、新政府は天皇が神に誓う形で ¹ 五箇条の御誓文 を出した。民衆には ² 五榜の掲示 が出され、キリスト教の禁止などが示された。同じ年、江戸は ³ 東京 と改められ、翌年には天皇も移り住んだ。この一連の変化を ⁴ 明治維新 という。

2 新政府はどうして中央集権を進めたか。

版籍奉還→廃藩置県・四民平等

1869年の ⁵ 版籍奉還 のあと、1871年には藩を廃止して府や県を置く ⁶ 廃藩置県 が行われ、府知事や県令が全国を治めた。身分制度も改められ、 ⁷ 四民平等 の方針のもと、もとの大名は華族、武士は ⁸ 士族 、それ以外は平民とされた。1871年には ⁹ 解放令 も出された。

年表 — この単元のできごと

1868

五箇条の御誓文・江戸を東京と改める

1869

版籍奉還を行う

1871

廃藩置県・解放令

まとめ

今日の問いに答えよう。「廃藩置県」「四民平等」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)新政府は五箇条の御誓文で方針を示し、1871年の廃藩置県で中央集権国家をつくった。身分制度も四民平等の方針で改め、解放令も出された。

☐ 五箇条の御誓文と明治維新がわかる ☐ 廃藩置県までの流れを説明できる

☐ 四民平等による身分の変化がわかる

できた / 9

